

都市整備部会 会議録

【出席者】 委 員：12 名
事務 局：7 名（戦略部会員：5 名（欠席 1 名）、政策推進課：1 名）
アドバイザー：1 名
ファシリテーター：1 名

【会議の内容】

1. はじめに

各自の自己紹介を行いました。

資料 1 に基づき、第 1 回まちづくり市民会議（全体会）の結果概要とふり返しシートの質問について事務局から説明しました。

2. 田原市総合計画フロー（案）について

3. 総合計画改定の視点について

資料 2、3 に基づき、総合計画改定のフローと本日の議題について、総合計画改定にあたって重視したい視点について事務局から説明しました。

4. 総合計画人口関連指標について

資料 4 に基づき、全国的な人口の動向、田原市の人口の動向、現時点での田原市の推計人口について事務局から説明し、意見交換を行いました。（意見交換の内容は次ページ以降に掲載。）

5. 戦略プロジェクトについて

資料 5 に基づき、戦略プロジェクトの概要について事務局が説明し、その後当日配布した資料に基づき、戦略プロジェクト案について戦略部会リーダーから説明しました。その後、戦略プロジェクトの市民提案、その他の意見交換を行いました。（意見交換の内容は次ページ以降に掲載。）

6. 市民評価について

資料 6 に基づき、第 3 回まちづくり市民会議で実施する市民評価について事務局から説明し、評価対象となる「中心市街地活性化推進事業」について説明を行いました。

市民評価に向けて、視察の実施、市民会議の日程、委員の役割分担について決定しました。

〔視察日程〕 平成 24 年 2 月 6 日（月） 13：30～ 視察先：セントファール

〔第 3 回市民会議日程〕 平成 24 年 2 月 23 日（木） 19：00～

〔市民評価役割分担〕

コーディネーター	駒木アドバイザー	補助員	戦略部会リーダー（千賀主査）
評価者	夏目委員、永田委員、鈴木（章）委員、鈴木（一）委員、小久保委員、鈴木（孝）委員		
判定者	伊藤委員、杉本委員、富田委員、山田委員、石倉委員、根之木委員		

7. 役員の互選について

委員の互選により、都市整備部会の幹事に小久保委員、副幹事に永田委員が決定しました。

8. アドバイザー総括

人口推計については全体の資料しかなかったので、空間分布などについても検討できたらいいと思う。また、議論にあったように産業別人口などの細かい視点が必要である。

戦略プロジェクトは決め方が難しいが、テーマが決まらないと始まらないので、決まり次第、議論を深めていきたい。

市民評価に関しては、一度やってみないと何とも言えないが、資料をみながらイメージをつかんでいければいいのではないかな。

9. その他

各自ふり返しシートを記入し、解散しました。

主な意見【都市整備部会】

項目	現状・課題
人口について	<p>(委員) 作成された資料には説得力があるが、直接的に対策に結び付けるための資料(15歳~64歳までの年齢別、職業別の人口推移など)が必要なのではないかな。</p> <p>(委員) 人口が減少していくのははっきりわかっていることである。人口減少、高齢化に向かっていくだけでは夢がない。</p> <p>(委員) 田原市に人口を呼び込むのか、または人口減少を前提に対策を打っていくのかが問題である。これまでの高度経済成長期のような、人口増加の中で右肩上がりの社会でなく、持続可能な社会を構築するためにも、人口維持・減少を前提にして、どうやって社会を発展させていくか、生活の質を上げていくのかという視点を持ちたい。</p> <p>(委員) もっと近隣市の状況をみていくべきである。例えば、新城市・豊橋市はどこで人口が止まり、どうやって対策をしていくのか。近隣市町村がどこから住民を誘致してこようと考えているかといったことまで考慮し、そことの兼ね合いで計画を立てるべきではないかな。</p> <p>(委員) 他市町村は四方八方から通勤できるが、田原市は豊橋市しか陸続きで連続していないという特異性も考慮に入れるべきである。</p> <p>(委員) 田原市で会社の求人を行ったときに、まず交通の便がよくないことを実感した。人口の中では、工業地域に勤めている人が減っているのか、農業の人が減っているのか、職業別に動向をみていく必要がある。</p>

項目	現状・課題
<p>戦略プロジェクトについて</p>	<p>(委員) 都市整備部会から出せるテーマとしては何か他の例があるだろうか。</p> <p>(委員) この4つが基本になればとてもいいスタートだと思う。</p> <p>[事務局] 今あげた4つの事業の中で、最も取り組みたいもの2つを選んでもらい、最終的には一つに絞って取り組んでいく。もし他に案があれば、それも提案していただきたい。</p> <p>(委員) 4番目の「緑化推進事業」については、現在、団体の活動として推進しており、会議をもって議論している最中である。これらの事業はどれもすでに進めているものではないか。</p> <p>(アドバイザー) 市民協働で考えた時に、どれが取り組みやすいかという視点で見なければいいのではないか。どのテーマも取り組めると思うが、それぞれの事業で重なる部分も多いだろう。</p> <p>[事務局] この4つの事業を持ち帰ってもらい、検討していただきたい。必ず1つでなくでもよい。セットで考えることも可能である。新規の事業についても可能性を検討してもらいたい。</p> <p>(委員) 戦略プロジェクト案の中に“まちなみ”があるが、これは自然も入っているか。自然景観保全も含めて総合的に進めたい。</p> <p>[事務局] 景観の中には自然も含んでいる。</p> <p>(委員) 各プロジェクトについてもっと詳細を知りたい。中身がわからないと、意見の言いようがない。ここに来ている委員はそれぞれの分野で深く活動している人ばかりである。自分には、経済や人口のことは難しいと感じた。もっと簡単にわかりやすい会議としてほしい。形式を固めないほうが、各自の立場から何ができるかという視点で話しやすいのかもしれない。</p>
<p>進行について</p>	<p>(委員) 戦略プロジェクトのあり方がよくわからない。総合計画全体の中でどのような位置づけになってくるのか。市民会議で検討するのはこの戦略プロジェクトのみになるのか、それ以外のことも入ってくるのか。</p> <p>(委員) 抽象的ではなく、当事者意識を持って、現場の声が反映されなければならない。もっと当事者の声を反映し、下から積み上げていかないと、無駄な会議になってしまう。</p> <p>(委員) 次回からはホワイトボードを用意するなどして、図式化しながら、わかっていない人にもわかりやすいようにして進めてほしい。</p>